

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
日本工学院八王子専門学校	昭和62年3月27日	千葉 茂	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人片柳学園	昭和25年3月1日	片柳 鴻	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111				
目的	常に新鮮なる人材を要望される現代社会に対応し、専門の学理と技術を身に付け、職業人としての自負と実力を蓄え、もって社会の中堅たり得る人材を養成する。電子工学コースでは、総務省による無線技術者養成の認定を受けており、実務に関する知識、技術及び技能を教授し、無線通信技術者及び電子回路設計・製作のできるエンジニアの養成を目的としている。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工科技術専門課程	電子・電気科 電子工学コース オーディオ家電コース	平成22年文部科学 大臣告示第153号	-			
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2190	1350	0	840	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
240人	90人	8人	12人	20人			
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S: 90点以上 A: 80～90点 B: 70～79点 C: 60～69点 D: 59点以下は不合格			
長期休み	■学年始: 4月1日～ ■夏季: 8月3日～9月4日 ■冬季: 12月23日～1月6日 ■学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件	①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有			

就職等の 状況	■主な就職先、業界等 IHI連搬機械株式会社 一幸電子工業株式会社 NECネットワーク・センサ株式会社 株式会社エフエムナックファイブ セコム株式会社 東京地下鉄株式会社 東洋エンジニアリング株式会社	主な資格・ 検定等	第一・二級陸上特殊無線技士 第一・二級陸上無線技術士 工事担任者 家電製品エンジニア 家電製品アドバイザー ほか
	■就職率※¹ : 93.3 %		
	■卒業者に占める就職者の割合※² : 82.4 %		
	■その他 成 26 年度卒業者に関する 平成27年5月1日 時点の情報)		
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名	■中退率 3 %	
	平成26年4月1日 在学者 101 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 98 名 (平成27年3月31日 卒業生を含む)		
	■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養・怪我治療		
	■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウ セリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。電子・電気分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。
授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学修評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
菊地 弘光	一般社団法人 家電製品協会 資格審査事業に関する運営評議委員
武田 道朗	一幸電子工業株式会社 情報産業システム第2部部長
天野 祐一	東洋エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
茂垣 隆	パナソニックシステムネットワークス株式会社システムソリューションズジャパンカンパニー首都圏部
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長
丸島 浩史	日本工学院八王子専門学校 科長
古山 伸	日本工学院八王子専門学校 主任
柳川 和彦	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長

(開催日時)

第1回 平成27年8月 4日 10:00～11:30、12:00～12:30

第2回 平成28年3月 開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

電子・電気分野に関する実践的な実習や演習を行なうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、又は技術指導などを受けられる企業を選定する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
エレクトロニクス通信実験	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の基礎から運用、機器の評価方法を学びます。	(有)インフォソケット
ホームエレクトロニクス実験	HEMSなど家電ネットワークや地上波デジタル放送などの家庭向けエレクトロニクス技術を学びます。	(有)インフォソケット
通信システム1	携帯電話などの通信機器を用い、通信技術の実際を学びます。	(有)インフォソケット

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

業界の技術動向、必要とされる技術動向を検証し、カリキュラム、教育方法等の改善を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社グループマネージャー
細谷 幸男	八王子商工会議所事務局長
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社代表取締役
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック事務局長
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会事務局長
一瀬 康剛	株式会社アトム精密代表取締役
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/>

授業科目等の概要

(工科技術専門課程 電子・電気科 電子工学コース・オーディオ家電コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・後	30	2	○			○			○	
○			キャリアデザイン1	就職に必要なマナーや一般常識などを学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	スポーツ実習1	集中授業としてスキー、スノーボード教室等を実施します。	1・後	30	1			○		○	○		
		○	英語1	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の基礎を学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
○			サイエンス	サイエンスの知識として、物体の運動や力などについて学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			テクノロジー基礎1	テクノロジーの基礎知識や計算手法について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			テクノロジー基礎2	ものづくり解析などに必要な数学を学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			デジタル回路1	2進法や基礎論理回路、各種デジタル回路について学びます。	1・後	30	2	○			○		○		
○			電気回路1	直流回路などの電気回路について学びます。	1・前	60	4	○			○		○		
○			電気回路2	交流回路の考え方、法則、計算方法などについて学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
○			電子回路1	アンプなど電子機器の原理や動作について学びます。	1・後	60	4	○			○		○		

		○	ビデオ技術	画像や映像の記録、伝送の方法について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	オーディオ技術	スピーカやマイクロホン、アンプなどオーディオ機器について学びます。	1・前	30	2	○			○		○		
		○	家電製品技術1	テレビ、地上デジタル、HDD・BDレコーダなど家電製品技術を学びます。	1・後	60	4	○			○		○		
		○	資格対策講座1	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	1・前	60	4	○			○		○		
		○	資格対策講座2		1・後	60	4	○			○		○		
○			電子工作実習1	オーディオアンプなど簡単な回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・前	60	2				○	○		○	
○			電子工作実習2	イコライザーアンプなど回路の組立を通じ、電子技術について体験的に学びます。	1・後	60	2				○	○		○	
○			プログラミング実習	C言語プログラミングを行います。	1・後	60	2		12		○	○	72	○	
○			エレクトロニクス基礎実験	デジタル回路、パルス回路、アンプなど電子回路の動作を学びます。	1・後	60	2				○	○		○	
○			テクノロジー実習	部品や簡単な回路の動作を実験を通じ学びます。	1・前	60	2				○	○		○	
○			パソコン実習	WindowsやOffice、インターネット利用上のマナー、エンジニアとしてのPCの利用方法を学びます。	1・前	60	2				○	○			○
		○	インターンシップ1	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	1・通	30	1				○		○		○
○			キャリアデザイン2	社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。	2・前	30	2	○			○			○	
		○	スポーツ実習2	スキー&スノーボード教室などを実施します。	2・後	30	1				○		○	○	

		○	英語 2	英会話を中心に、テクノロジー分野の英語表現力の応用を学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
○			電子回路 2	発振回路や電源回路、オペアンプを使用した回路など、様々な電子機器の動作について学びます。	2・前	60	4	○			○		○	
○			マイクロコンピュータ	マイクロコンピュータのしくみや動作を学びます。	2・前	60	4	○			○		○	
○			光エレクトロニクス	光通信や半導体レーザなどについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○	
○			通信システム 1	携帯電話などにも用いられる通信技術を学びます。	2・前	30	2	○			○		○	○
○			通信システム 2	通信技術の応用、実際の通信機器について学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
○			計測技術	電子機器の計測方法、計測器の原理などについて学びます。	2・後	30	2	○			○		○	
		○	電子回路設計	増幅回路や発振器などの設計方法を学びます。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	電子応用技術	カーナビゲーションシステムなど電波応用技術など様々な電子技術の活用法を学びます。	2・後	60	4	○			○		○	
		○	オーディオ・ビデオ機器	ホームシアターなど、デジタルAV技術を学びます。	2・前	60	4	○			○		○	
		○	家電製品技術 2	様々な家電製品の技術を学びます。	2・後	60	4	○			○		○	
		○	資格対策講座 3	各種資格取得のためのバックアップ講座です。	2・前	30	2	○			○		○	
		○	資格対策講座 4		2・後	60	4	○			○		○	
		○	資格対策特別講座	様々な資格対策を行います。	2・前	30	2	○			○		○	

○		エレクトロニクス通信実験	スマートフォンなどで使われる通信技術の実際を学びます。	2・後	30	1			○	○			○	○
	○	電子回路製作実習	増幅回路や発振器などの設計・製作を行います。	2・前	60	2			○	○		○		
	○	デジタルテクノロジー実験	デジタルフィルタなどDSPの基礎などのデジタル技術を実験します。	2・前	60	2			○	○		○		
	○	家電機器修理実習	テレビなど家電製品の故障発見・対応などについて実習します。	2・前	30	1			○	○		○		
	○	ホームエレクトロニクス実験	ホームシアターや地デジなどの技術を実習します。	2・後	60	2			○	○			○	○
	○	卒業製作	ものづくりを通じ、2年間で習得した技術の集大成します。	2・後	120	4			○	○		○		
	○	インターンシップ2	企業研修で実際の現場を学び、実践力のスキルを高めます。	2・通	30	1			○		○		○	
合計			46 科目	2190 時間 (118 単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目1,110時間(61単位)、選択科目600時間(29単位)以上を取得し、合計1,710時間(90単位)以上を取得すること。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。